

Rudolf Steiner :

Esoterische Betrachtungen karmischer Zusammenhänge

(Band III GA 237)

## Die karmischen Zusammenhänge der anthroposophischen Bewegung

最も重要な『カルマ論全集』

(日本では未訳の3巻～6巻)第3巻の邦訳。

人間が再びカルマに、

本当のカルマに帰っていく、

本当のカルマを生き尽くすための・・・

宇宙からの一条の光——カルマ認識の書

新刊書 2021年5月末発行

A5版フランス装 本文224頁

ISBN978-4-903865-47-8

定価2970円(本体価格2700円+税)



ルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner, 1861-1925) 最晩年の活動はまさに超人的。特に1924年にはゲーテアヌム再建のための粘土模型の制作、音楽オイリュトミーのための講座をはじめ、言語オイリュトミー講座、農業講座、治療教育講座などを行い、さらに1925年3月30日の死の直前に『アントロポゾフィー医学の本質』の校正を終え、これを大変喜んで、イタ・ヴェクマンに渡し、また彫塑「人類の典型」の制作に関わろうとしたと言われている。

本書は11回の講演、及び訳者による解説を収録。シュタイナーの意図を正確に伝え、読みやすい日本語の文章となるように意を尽くしている。

訳者 浅田 豊 Yutaka Asada

オイリュトミスト、人智学研究者。スイス在住。ゲーテアヌム書店に勤務。現在はシュタイナーの思想、社会論を研究。

訳書にシュタイナー著『二つのメモランダム(覚書き)』、『個人と人類を導く霊のはたらき』などがある。学芸研究室の広報誌「Stella」誌に「ルドルフ・シュタイナーとその時代」を連載。年に二度ほど来日、各地で講座を行っている。

ルドルフ・シュタイナー講演集

『カルマ的関連の秘教的考察』



ルドルフ・シュタイナー

# アントロポゾフィー運動の カルマ的関連

ドルナッハにおける11回の講演 (1924.7.1-8.8)

浅田 豊 訳・解説

地上の生活において誕生から死に至るまで

私たちが遭遇することの中に、まさに運命的・カルマ的な

関連がある。・・・カルマ的関連を徹底的に見通すことによって、自由の本質を初めて正しい光のもとに見られる。

\*

アントロポゾフィー運動に入ってくる人々は・・・

カルマ体験を注意深く見るができなくてはなりません。

カルマを気楽に体験すること、カルマをのんきに体験しようとする意志があると、それが物質的な病気や、物質的な事故として、まさにその報復が戻ってくるのです。

\*

ミカエルは強力な霊です。そしてミカエルは勇気に満ちた人間だけを、内的に勇気に満ちた人間たちだけを全面的に必要としているのです。

・・・人間を狭い地上的な関連から引き抜いて、

霊的な高みにまで持っていくように、まさに働くのです。

(本文より)

## ●目次より

### 訳者による序文

#### アントロポゾフィー運動のカルマ的関連 11回の講演

- 1: 意識魂の時代における思考の発展／現代に必要な、生きた思考／他
- 2: 人間のカルマを準備する諸力と「本能」／現在に働きかける過去の死者たち／他
- 3: 人生72歳は宇宙の一日／アントロポゾフィー協会のカルマ／他
- 4: 19世紀前半の超感覚的祭礼／アントロポゾフの自己認識の必要性／他
- 5: 新しい、別の時代がやって来る／カテキズムの成立とミサの変容／他
- 6: 偉大なシャルトル学派／シュタイナーの生涯とシトー会／他
- 7: ミカエルの超感覚的學校／第一ヒエラルキアの巨大な行為／他
- 8: ミカエルと他の大天使との関係／「自然という書」を読むことの必要性／他
- 9: ミカエルの力は個人のカルマの中に強力に働きかける／他
- 10: イニシアティブを持つことの必要性／物質主義の間違いととは？／他
- 11: 天使たちの分裂とカルマの混乱／アントロポゾフィー的な精進の魂／他

### 訳者による解説

シュタイナーの生涯と業績におけるカルマ論の意味

11世紀～12世紀の偉大なシャルトル学派

おわりに